

2021年5月31日
伊藤忠商事株式会社
伊藤忠エネクス株式会社
株式会社ファミリーマート

陸上輸送分野における再生可能資源由来の燃料ビジネスについて ～NESTE社との協働により、日本初となる商用輸送用車両での利用を実現～

伊藤忠商事株式会社(本社:東京都港区、社長 COO:石井敬太、以下「伊藤忠商事」と)、伊藤忠エネクス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田 賢二、以下「伊藤忠エネクス」)、株式会社ファミリーマート(本社:東京都港区、代表取締役社長:細見研介、以下「ファミリーマート」)の3社は、世界最大級の再生可能資源由来の燃料(以下「リニューアブル燃料」)メーカーである Neste OYJ(本社:フィンランド、CEO:Peter Vanacker、以下「NESTE 社」)社グループと協働で、リニューアブルディーゼル(Renewable Diesel(以下「RD」))の日本初となるコンビニ配送車両への利用を実現致しました。

本取組を契機に、伊藤忠グループでは、陸上輸送分野でのリニューアブル燃料ビジネスに本格参入し、サーキュラーエコノミー及び脱炭素社会の実現を目指します。

伊藤忠商事は本取組にて NESTE 社との間で RD の日本国内向け輸入契約を締結、伊藤忠エネクスは国内での RD 輸送及び給油に係る一連のサプライチェーンを構築、ファミリーマートは、6月初旬以降に、ファミリーマートの横浜市内の配送センターで、配送車両の一部において、軽油に代わる燃料として RD を 100%使用いたします。陸上輸送分野での GHG (Greenhouse Gas: 温室効果ガス) 排出削減を可能にする RD を燃料とした配送車両の走行としては、国内コンビニ業界で初めての運用になります。

NESTE 社は、食品競合のない廃食油や動物油等を原料とした、RD や持続可能な石油代替航空燃料(Sustainable Aviation Fuel(以下「SAF」))などを製造している世界最大級のリニューアブル燃料メーカーで、伊藤忠商事とは過去数年の協働を経て、2020年10月の SAF の日本国内向け供給を実現しました。さらに、循環型低炭素社会の実現に向けた取り組みを強化するため、このたび RD の分野での拡大に至りました。

このたびの取り組みについて NESTE 社の Executive Vice President for Renewable Road Transportation である Carl Nyberg 氏は、「伊藤忠グループと協力して、日本で脱炭素化に向けた新たな燃料を展開できることを非常に嬉しく思います。」とコメントしています。

NESTE 社の RD は、ライフサイクルアセスメントベースでの GHG 排出量で石油由来軽油比約 90%削減を実現致します。RD は主に輸送用トラック・バス等で使用され、いわゆる「ドロップイン」燃

料として、既存の車両や給油関連施設をそのまま利用開始することが可能で、すでに欧米を中心に、広く流通実績があります。脱炭素施策に係る導入コストを最小限に抑え、GHG 排出削減にも大きく貢献できる次世代リニューアブル燃料として、今後の陸上輸送分野での更なる利用拡大が期待されます。

伊藤忠商事は、中期経営計画の基本方針のひとつに『「SDGs」への貢献・取組強化』を掲げており、今後もリニューアブル燃料の日本及びアジア市場での導入・普及に取組み、サーキュラーエコノミー及び脱炭素社会・持続可能な社会の実現に向けた課題の解決を目指していきます。

伊藤忠エネクスは、経営理念「社会とくらしのパートナー～エネルギーと共に・車と共に・家庭と共に～」のもと、より良い地球環境と社会との共生を実現するため、環境方針の一つに「脱炭素社会の実現に向けての貢献」を掲げ、継続的に環境改善アクションに取り組んでおります。今後も当社グループは、新しい時代に合う事業の推進と社会課題の解決を通じて、人々の豊かなくらしと持続可能な社会の発展に貢献し続けてまいります。

ファミリーマートは、2020年2月に「ファミマ eco ビジョン 2050」を策定し、持続可能な社会の実現に貢献するため、2030年及び2050年に向けた中長期目標として、「温室効果ガス(CO2 排出量)の削減」、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマに基づき数値目標を設定しております。今後も、ファミリーマートでは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、サステナビリティ活動を一層進化させることで、社会とともに持続的な成長を実現してまいります。